

情報検索指導における良い例題・悪い例題 (中級編) - 専門分野別データベースの特徴を紹介する方法 - アンケート集計結果 2：記述

仁上幸治 (早稲田大学図書館)

日時: 2006 年 11 月 22 日(水) 15:30-17:00 会場: パシフィコ横浜 図書館総合展フォーラム第 6 会場 対象者: 図書館職員、教職員、JLA 会員、関係団体、他 主催: 日本図書館協会 参加費: 会員 500 円 / 非会員 1000 円 申込先: cue@jla.or.jp 事務局担当久保木 宛。氏名、氏名ヨミ、会員番号、所属、住所、電話番号、電子メールアドレス、例題づくりで困っている点、質問・要望など明記。 定員: 170 名 (先着順) 締切: 11 月 15 日(水) 詳細: 図書館利用教育委員会 <http://www.jla.or.jp/cue/>

総合展 06 -アンケート最終集計

Q1. 講演の印象

評価 5 点

- ・自分を变えていく必要性を感じた。勉強になった。
- ・ 5 回くらい笑った
- ・ IT 企業にて販売担当ですが、ISO9001 と図書館と似ていると思いました。
- ・活かしたいと思います。
- ・ウイットに富んだプレゼンで、内容が良く理解できたし、最後まで楽しく聞けた。
- ・うなずける部分が多数あった。
- ・大きな刺激を受けた。
- ・画像が多用されていて面白いと思いました。
- ・画面にもありましたが、目からウロコ。公共図書館なので、役に立つところを引き出して取り入れてみたい。
- ・実際の業務をふまえた上での内容で説得力がある。
- ・自費でも満足
- ・仁上節絶好調
- ・ずいぶん事前に調査しお作りになさった感じを持ちました。
- ・スライドショー(スライドをせっかく使用しても枚数が少ないと効果も低くなることに気づきました。
- ・説明がとても分かりやすく、例の取り上げ方も面白く参考になりました。
- ・楽しいセミナーでした
- ・楽しくためになりました。
- ・テンボが良くてわかりやすかった。
- ・図書館員の皆さんが日常直面している問題がわかりました。
- ・図書館員離れしたプレゼン
- ・とても参考になった。
- ・とても参考になりました。よかったです。
- ・内容が濃いものでした。
- ・パワーポイントで説明されたので、わかりやすい。
- ・本当に目からウロコでした。
- ・もう少しゆっくり聞きたかった
- ・もっと知りたいです。
- ・やる気にさせてくれます!
- ・良かった
- ・よかった。今まできちんとした講習を行っていないので、参考になりました。
- ・良かったです。しかし初心者のため難しく感じました。
- ・利用者側の気持ちがよくわかった。
- ・利用者教育に関心のある図書館が非常に多い。
- ・利用者にはあれやこれやと教え込みたいが、内容を絞って伝えること、利用者を研究することが大切だと思いました。
- ・わかりやすい説明
- ・様々なところにヒントあり(藤沢氏の本, 岡本氏の本)
- ・中級というよりは初級の印象でした。
- ・がっかり。何を言いたかったのか、焦点がわからなかった。

評価 4 点

- ・「興味のひきつけ方」に主眼が置かれているのかなという気がしました。
- ・相手に伝える“要約,表現,説明”の重要性を改めて感じました。
- ・新たな視点を得ることができました。
- ・意外性があり面白かった(図書館のこれまでのやり方の枠にとらわれない発想,実用的)
- ・おもしろい
- ・面白かった
- ・具体的で聞きやすかった。
- ・元気が出ました。
- ・講師の方が伝えたかったことがよくわかりました。インパクトのある講演でした。
- ・今回もインパクトがあった。
- ・時間がもっとあれば良かったのですが。
- ・刺激が多かったです。
- ・楽しめる内容でした。
- ・端的な言葉で表現するのが,利用者にとっては重要なのだと思いました。
- ・テンポがよかった。小話の入れ方が上手。
- ・図書館員に今後求められる資質について改めて考えさせられた。
- ・とてもわかりやすかったです。
- ・とにかく話がおもしろい。
- ・ノリが良かった
- ・話が軽快でよい
- ・話し方を工夫されていますね
- ・ひきつけられました。
- ・日頃の方向にまちがいはなかったと納得できて嬉しかったです。
- ・盛りだくさんだったが,内容は面白かった
- ・利用者との架け橋となる重要性を痛感した。
- ・利用者の観点から検索の難しさが理解できた。
- ・わかりやすい。パワーポイントのスライドが文字数が少なくてよい。
- ・わかりやすかった。
- ・早足だった
- ・ちょっとせわしなかったと思います。
- ・仁上先生のお話は2回目なので,以前のようなインパ

クトはなかったです。でもその時やろうと思っていたことの半分もできていないので,またモチベーションを上げるよい機会になりました。ありがとうございました。

- ・説明しないスライドが多すぎ
- ・タイトルの良い例題,悪い例題とはちょっと違ったように思います。

評価3点

- ・座学的でした。実際と例題(良い例・悪い例)を見せてもらいたかった。
- ・文字を読む癖のある「司書」としてはスライドがすぐ変わってしまったので,目が疲れました。こころこ変えるのはやめてください。

評価2点

- ・こなれていない。

評価1点

Q2.例題作りの発想を「聞き手本位」に変えようという講演の趣旨に全体として賛成ですか?その理由

評価5点

- ・QMSの考えと同じですね。
- ・いくらこちらが意図しても相手によって受け取り方が異なってしまうので。
- ・犬の例を見ればよくわかる
- ・今までそういうアプローチが少なかったことが不思議です。
- ・聞き手が興味を持って聞けるから
- ・聞き手が実際今後利用するものだから。
- ・聞き手に合わせないと興味をもって聞いてもらいから。
- ・聞き手に聞いてもらえなくなるから。
- ・聞き手に理解してもらいたいから
- ・聞き手のための講習会・例題だから。
- ・聞き手本位の方が利用者にとって理解しやすいものになると思います。
- ・聞く側が理解できない講習会では意味がないと思うので。
- ・現在,図書館と利用者の感覚には大きな隔たりがあると思うので。
- ・これを使えば,何ができて,どう便利かを示せる例題

- 作りはとて大変ですが、自分の勉強になりました。
- ・初心者あるいはわからない立場を具体的にイメージして一歩わかる段階が何か、図書館員として見えていないことに問題があると気づいた。
 - ・その方が聞き手も興味を持てると思うから。
 - ・ついつい説明者側の都合でやってしまいました。反省です。
 - ・伝えたいことも、相手に伝わっていなかったら意味がないから。
 - ・伝えるべき授業とわからないことを教えたい講習会では多少変わるかもしれない。
 - ・図書館員が一方向的に話していても、学生は眠っているだけなので。
 - ・図書館員側から発信していることは自分たちはわかっているのだから、受け手はどうかを考えていない。
 - ・話を最後まで聞いてもらうためには必要。
 - ・利用者側のレベルに合わせないと理解の度合が変わるため
 - ・教える側の経験として「こういうデータベースを使えばレポートや卒論がうまく書ける」と伝えれば反応がよくなる。「つまづきのポイント」を考慮しつつ授業を組み立てたい。

評価 4 点

- ・学生の立場にならないと、今の学生は聞かない。
- ・関心をひくためには必須だから。
- ・聞き手に合わせなくては理解されないと思うので。
- ・聞き手の興味を向かせることは理解に直結すると思います。
- ・聞き手本位でないといけないは当然だと思いますが、かなしいかな実現できていません。
- ・賛成
- ・質問をしてくるのはあくまで利用者であるから。利用者よりもある程度わかっているはずの図書館側の者たちだけで納得できるような例題は自己満足以外の何物でもない。
- ・自分自身が常に心がけていることであるため
- ・自分でも努力しているが、うまくできていない。
- ・使用者優先

- ・確かに図書館員本位な説明になっていたかもしれせん。
- ・図書館の伝えたいことに力が入りすぎるため
- ・プレゼンは聞き手の立場を考えることが重要
- ・やはり利用者に「おお」と思わせるのが一番ですね。
- ・利用者が何かしら実感しなければ頭に残らない。聞き手本位、賛成です。
- ・利用者のための講習会ですので、当然の視点だと思います。
- ・利用するのは結局のところ利用者（聞き手）だから。
- ・私たちも学生たちの側に立って聞くことができた。

評価 3 点

- ・人数にもよるが、その場でキーワードを聞きだすと、よく食いついてくれる。
- ・その通りだからです。

評価 2 点

- ・当たり前

Q3. 自館（自分）でもぜひ取り入れてみたい改善策のヒントがありましたか？ 具体的に。

評価 5 点

- ・「求められる専門性」は授業を教える側として取り入れたい。
- ・13個あった改善案はどれも応用できそうで参考にしたいと思います。
- ・ありました。各種データベースについて。
- ・案内です。カウンターや検索機の周りに説明書きをしても結局カウンターにいらっしやいますから。
- ・映像を取り入れたプレゼンをやってみたい。
- ・大阪弁フィルタ使いたいと思いました。
- ・各データベースの説明をもっと簡単にしたいと思います。
- ・現在、ゼミ単位で任意でガイダンスをしているが、授業に取り入れていきたいです。
- ・講習会を実戦で解けない例題
- ・失敗から学ぶ。利用者の行動の原理。
- ・授業との連携をさらに

- ・調べ案内をポイントをおさえて作ろうとイメージできた。
 - ・対象者の絞込み，図書館員の意識改革
 - ・掴み，動画など
 - ・データベース提供元として，よりわかりやすい表現を追求します。
 - ・データベースの説明を簡潔にしてみます。
 - ・データベースの説明をもっと簡潔にしたい。
 - ・データベースの内容を紹介する手法からプロセス主眼とした紹介への転換
 - ・図書館で使っているいろいろな表現を見直そうと思う。
 - ・パワーポイントや資料の作り方
 - ・パワーポイントを使って説明した。
 - ・プレゼンテーションに関すること
 - ・プレゼンの画面や文字を大きくする
 - ・ポイントだけの簡潔明瞭な説明を考える努力の必要性を強く感じました。
 - ・利用者本位にすすめる点
 - ・わかりやすく伝えるための技法を学ぶ，身につけると
- ・図書館員のあたりまえは利用者のあたりまえではないということ。用語の解説ひとつとってもそう思いました。
 - ・長い説明を省いて簡潔にという点
 - ・パワーポイントのスライド作成法はヒントになりそうですね。
 - ・表現力
 - ・プレゼンテーション方式にすること
 - ・プロセスアプローチの過程でちょうどあったツールの紹介を行うという点
 - ・ポイントを絞って，端的に説明する。実際にやらしてもらおう。現在のガイダンスは説明中心で中だるみしているの。
 - ・文句を言ってくる利用者に対して，もっとよく観察するようにしようと思った（犬の話についての時にそう思った）。どういうレベルの人なのかを見定めることができれば，相手に説明しやすくなると思った。
 - ・要約性
 - ・よく似たことを考えている
 - ・論文の影響評価を新たなポイントとして研究してみたい。
 - ・わかりやすい説明のポイント

評価4点

- ・遊び心がいっぱいのお話
- ・今までの失敗を次へとプラスして工夫していこうと思えます。
- ・今まではオリエンテーション等では「詳しく，細かく」という考えでいたのですが，大ざっぱにインパクトあるものを心がけようと思えます。
- ・映像を使う。動くポインタを使用。
- ・簡潔な説明文
- ・検索の方法をレクチャーしてみたい。
- ・これまでの仁上さんの講演でいただきました。
- ・実施後のアンケートをちゃんととらなくてはと思えます。
- ・失敗学を生かせるようにしたい。
- ・授業を1コマもらって行いたい。
- ・資料の作り方を見直す必要がある。
- ・他の分野の人たちの考えを柔軟に取り入れようとするところ

評価3点

- ・全く違う分野から入るのは面白かった（例．犬の話）
- ・プリントするのではなく「コピ&ペ」。メモ帳を使う人少ないんですね。

Q14.もっと詳しく聞きたかった点

評価5点

- ・海外ではどういう利用教育をしているのか
- ・学生さんたちへの講習会の後の学生の変化はどうか。
- ・学生への説明の成功例，失敗例
- ・各データベースの長所・短所
- ・具体的な実践例
- ・具体的なデータベースの特徴，使い方の技法
- ・具体的な例題の紹介（データベースについてはよくわかりました）
- ・具体例がもっと多ければさらに良いと思えます。
- ・講師の授業を通して聞いてみたいです。

- ・質問しませんでした...「論文・レポートの書き方」についてのガイダンスも実施していますが、図書館としてそこまでする必要はあるのか、という思いがありますが、いかがでしょうか？
- ・授業と図書館オリエンテーションの連携方法
- ・上級編を楽しみにしています。協力できることがありましたらご連絡ください。
- ・情報リテラシー，4つの提案を具体的に
- ・続編もお願いしたい
- ・データベースの特徴の説明
- ・データベースを利用者に説明する際の検索例を具体的に知りたい。
- ・テーマの内容を知りたかった。想像していた内容とかなり違った。
- ・プロセスアプローチの具体例を聞いてみたかった。
- ・ベンダーと図書館の連携，講習会実施について
- ・良い例，悪い例の具体的な説明を詳細に聞きたかった。
- ・例題比較（良い例題・悪い例題）
- ・悪い例題をもっと提示してもらいたかったです。
- ・文献と情報の種類の違い（例：一般誌の論文と学術論文の違い）をいかに伝えるか

評価4点

- ・Q4の内容の具体例
- ・具体的な例題について，キーワードの設定など
- ・具体的な例題もみたかったです。
- ・具体的にどのように指導されているのか，もう少し詳しく。
- ・具体的にどんな検索例が望ましいのか，そのあたりを詳しく聞きたかった。
- ・具体例をもっと
- ・検索の失敗例(実例)，その場合の図書館員の対応例，問題点，改善点を実例で詳しく。
- ・講演のタイトルである良い例題・悪い例題をもっと詳しく，具体的に聞きたかった。
- ・講師の組み立てで充分であった
- ・講習会の開催にあたって，利用者の関心（必要性・意欲）のひきだし方（なかなか参加しようと自主的に考える利用者は少数）。教員とのコラボは必要だが，それ以外に図書館スタッフは動かないといけないのか。

- ・様々なレベル，興味を持った利用者に対して，1度のオリエンテーションでどこにターゲットを絞って行っていくかといったコソ等について聞きたかったです。
- ・紹介すべきポータルサイト
- ・仁上さんの講習様子をお伺いしたい。
- ・たくさんある雑誌記事データベースの利用者への指導法
- ・中級編のさわりまでという感じがしましたので，データベースの特徴についてもう少し踏み込んでいただけたら嬉しいです。
- ・データベースの実際と比較
- ・データベースの例題が示されるのかと思い，参加しました。総論のみで具体例がなかったのが残念です。具体例の意味を取り違えていたのかもしれない。
- ・図書館員のインストラクション能力の向上策
- ・内容はとてもよかったが，時間が短かったのが残念でした。
- ・表現力，技術について
- ・良い例題の実際の成功例を早稲田大学ではどうなのか聞きたかった。
- ・利用者のレベル別に成功例を知りたい。
- ・レジュメ p.2-3「例題の良し悪し」の比較検討についてもう少し踏み込んでほしかった。
- ・レファレンスサービスの具体例
- ・早稲田の具体例

評価3点

- ・もう少し深く聞きたかった。実際例があるとよかったです，時間的に厳しかったかと。
- ・具体的な演習の課題をもっとお聞きいたしたく思いました。
- ・事例報告

評価2点

評価1点

- ・実例

Q15.講師への希望・助言

評価5点

- ・面白い講演・研修をありがとうございました。
- ・「カレントアウェアネス」のご教示ありがとうございました。

ました。

- ・NIIのリテラシー教育でも受講させていただきました。その際は学生さんたちへのパフォーマンスをみるのがとても印象に残りました。今回もとても参考になりました。
- ・Q2に関連しますが、特定のデータベースが情報検索法に関する良い例題は同じなのかもしれませんが、そうすると必修は話し手ペース、講習会は聞き手ペースで、脱線に対する許容度の中ということでしょうか。
- ・犬の話はものすごく、とても、大変、わかりやすいたとえ話でした。
- ・講習会の人集めについては、全く同意見です。12月12日PULCのイベントで講習会サクセスストーリーとしていくつかの大学から発表いただく予定です。
- ・使用機器は事前にご確認くださいませ。
- ・初級編をまた開催してください。ありがとうございます。
- ・とても参考になりました。
- ・とてもよかった
- ・何日間にわたってじっくり講習を受けてみたいと思います。
- ・範囲がもう少し狭くするとよい(広く早かったため)とても参考になりました。
- ・日図協(?)のホームページへの今日の資料のUP期待しています。
- ・プレゼンでの表現方法がうまくて理解しやすかったです。
- ・利用者教育を行うモチベーションが上がります。ありがとうございます。
- ・例題のデータベースもあつたら・・・失敗例とともに・・・今回も楽しく拝聴しました。資料がアップされたら、図書館でもう一度みんなで楽しみます。
- ・初級編が良かった分、今回とても期待していたので、残念でした。不要なスライドは削除しておいてほしい。

評価4点

- ・「とにかく早い」ということが第一印象でしたが、重要な点については、頭にたたきこむことができたと思います。
- ・あまりにも展開が早く途中で他のことも入るので、つ

いていきにくい部分があった。

- ・いつも盛りだくさんでありがとうございます。ガイダンスと同様にレベル、分野分けが必要だと思いました。
- ・学生向けだけでなく、図書館の使い方を知らずに企業人になった者に対応する方法も検討してください。
- ・聞き手をひきつける手法ではありますが、前置き、余談が長いので、本題に割く時間をもっと多くほしい。
- ・これからも私たち図書館員に啓蒙となるお話をお聞かせください。
- ・時間が限られていたので、もう少しポイントを絞ってご説明いただけると良かったが、視点としては面白かった。
- ・初級編と合わせて媒体での発表があればと思います。
- ・説明が早いです。もう少しゆっくりお願いします。
- ・続編を行っていただきたい。
- ・タイトルどおりの内容のお話を再度ぜひ伺いたいです。
- ・楽しいお話でした。今までの自分達のあり方に反省するところが多いです。
- ・机を用意していただけてパーフェクトだと思いました。
- ・とてもよい講演でした。ありがとうございました。
- ・ポイントはよくわかりました。動機の欠如を再確認しました。ただし話題が広くなりすぎると感じた。
- ・メルマガ&ホームページの『泣ける！プレゼンテーション』オススメです。
- ・ワークショップでもぜひ講師をしてください！
- ・話題の切り替え部でもう少しメリハリを。

評価3点

- ・盛りだくさんかもしれません。もっと学生の実際の受け取り方などをお教えくださるとよかった。
- ・東北福祉大学出身で司書を取得した私としては、母校が登場したので、とても嬉しく思います。ただプレゼンのページで『仲介力』の初めのところのマークが並ぶところが気になり、後半はそればかりが気になりました。これは先生の趣味ですか？
- ・始まりのつまづきが少し影響。

評価1点

- ・早すぎる

Q16.今後の講演への要望

評価5点

- ・今後もガイダンスについてのフォーラムを希望。
- ・1つのテーマをもっと細く絞ったものを行ってほしい。
- ・学校図書館員対象にプレゼン力, 授業力, 指導力についてそろそろやってもらいたいと思いました。
- ・関西でも開催してください。
- ・関西方面(ぜひ関西弁で)
- ・九州では開催されませんか。
- ・今回の内容が盛りだくさんだったので, もっと絞ってわかりやすくしてほしい。テーマと内容は同じにしてほしい。
- ・今回のように一同に集まれる場がよいと思います。先輩の司書が行った利用者講習会を聴講した際の例題で, 学生の所属学科の先生の書かれた論文を探すというものがあり, 学生も興味をもってくれたようでした。
- ・初・中級編の続編や上級編もぜひ。
- ・上級編, 中級編の続編
- ・情報検索指導の実務に携わっていないので, いまひとつ実感がわかないが残念です。内容的にはおもしろく楽しませてもらえました。
- ・先行研究の網羅的調査についてぜひ講演会開催をお願いしたい。図書館員と教員との協力関係の築き方もテーマに含めるべきかも。
- ・データベース講習会を図書館からの依頼を受け, 行っています。図書館スタッフの努力だけでなく, ベンダ側も扱っているシステムをどのように学生, 先生方にアピールしていけばよいのか, 改めて考えさせられました。
- ・東京, 関西に加えて, 中部地区でもお願いいたします。
- ・東京でも開催してほしいです。
- ・東北地方でも同様の研修があると参加しやすいと思います。
- ・都内で開催してほしい
- ・ポイントを絞って, 数回にわたる講座を開いてほしい。
- ・また来年も聞きたいです。
- ・ワークショップはぜひ実施してほしい。
- ・わかりやすい説明でよかったです。今後の業務の参考

にしたいと思います。

- ・アンケート用紙の字が小さい

評価4点

- ・3月の初級編に参加させていただきました。また関西でお願いします。
- ・DVDの宣伝部分が多い。そのほか, 講習の話などが長く感じた。講演を増やしてもらったほうがよい。
- ・関西でお願いします。
- ・関西での開催を希望します。
- ・講師にDVDを使うか, CD-Rで済むのか, あらかじめ連絡をとり, 必要十分なPCを用意しておくのが事務局のつとめと思いました。
- ・社会人になって, 情報検索も図書館も利用できない人をどう教育するかの利用教育もご検討ください。
- ・上級編もぜひ東京近辺で開催してください。
- ・初級編をお聞きする機会がほしい。または初級編の資料をWeb上で公開していただきたい。
- ・初級編をぜひもう一度開催してください。参加したい。
- ・東京でお願いします。
- ・東京でやっていただけると嬉しい。
- ・図書館総合展は次年度ガイダンスの準備をするためのネタをいただくには良い時期だと思います。ぜひ来年もお願いします。
- ・都内での開催を希望します。
- ・土曜日に都内にて, リテラシー教育方法を利用者レベル別に行っていただきたい。

評価3点

- ・会場に100席しかないのに, 募集は170名。実際, 後からイスを入れるなど, 運営上問題では?
- ・講演中の撮影フラッシュが多すぎて邪魔です。
- ・初級編の資料がほしいです。

評価2点

- ・もとはとれなかった。

以上

以上

(図書館総合展フォーラム講演アンケート集計結果-2:記述/2007.7.2)